



新羽小だより

令和4年(2022年) 8月31日

第580号

横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871 Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>

夏休みを終えて

校長 佐藤 恵子

長い夏休みが終わりました。休業期間中も、保護者の皆様には個人面談に来校していただいたり、ご家庭では植物の世話を始め子ども達の学習活動に手厚くご協力いただいたりと、たいへんお世話になりました。地域の見回りや丘陵公園の草刈りにも暑い中ご参加いただき、たいへんありがとうございました。

夏休み明けの8月29日、「学童でお出かけしたよ。」「新幹線でおばあちゃんちに行ったよ。」「家族でプールに行ったよ。」「いとことキャンプに行ったよ。」「たくさん花火したよ。」と、お互いの体験を報告し合う子ども達の姿があらこちらで見られました。心と体をリフレッシュし新たなエネルギーを蓄えたことでしょう。この夏の発見や感動を胸に、これからの学校生活も元気に過ごしてほしいと思います。



さて、行動制限のない今年の夏、甲子園球場では3年ぶりに吹奏楽やたくさんの観客を入れて全国高校野球選手権大会が開催され、私もテレビで観戦しました。今年の3年生は高校生活が休校でスタートし、学校行事の中止や縮小、大幅な活動制限の中で学校生活を送ってきました。日常の不安や戸惑いと戦いながら部活動を続けるのは大変だっただろうと思うと、テレビに映る彼らの真剣なプレーには例年以上に心を打たれました。ときどき画面に映るスタンドの吹奏楽部も同様に苦労が多かったことと思います。屋外の猛暑の中、感染予防のため各奏者の間隔を大きく空けて楽器の演奏をしています。人の声など楽器以外の音に囲まれ、きっと自分の楽器の音しか聞こえないのではないかというたいへん厳しい演奏条件です。しかし、どの学校も力強く立派に演奏していました。どんな厳しい状況下でも、自分たちがやってきたことを信じ、仲間を信じ、心をつないで、それぞれがやるべきことに最大限集中できるか、一人ひとりまっすぐな気持ちで挑戦しているんだなあ、球児と同じようにどの高校生も真剣なんだなあと感心しました。「ひたむきさ」「信じること」、人としての尊い姿を若い人たちの中に見ることができ、たくさん教えられた甲子園でした。



学校が再開し、子ども達の元気な声が戻ってきました。まだまだ暑い日が続きますが、季節は着実に秋へと向かっています。実りの秋です。日常の授業を大切にしながら、音楽発表会やなかよし遠足など、学校全体で取り組む活動を計画しています。また、外部講師を招いての出前授業や学年ごとに取り組む校外学習も安全な実施方法を工夫して行いたいと思います。学校の衛生管理の取組につきましては、引き続き保護者の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。